

# 【西区】令和5年第1回区づくり推進横浜市議員会議

令和5年2月14日(火) 15時30分開始  
西区役所3AB会議室

## 次 第

1 開 会

2 座長の選出

3 議 題

(1) 令和5年度 西区編成予算(案)

(2) 令和5年度 西区編成予算(案) 主要事業

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進

イ 区制80周年記念事業

ウ 高齢者あんしん生活サポート事業

エ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

オ 子育て支援の推進

カ 地域連携推進・回遊性向上事業

キ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業

ク スポーツ振興事業

ケ 西区ヨコハマ3R夢推進事業

コ 地域防災活動推進事業

(3) 新型コロナウイルス感染症への対応状況

(4) デジタル区役所モデル区に係る取組

4 会議報告書の作成

5 閉 会

【参考】西区における開発動向等

### 3-(1) 令和5年度 西区編成予算（案）

#### 【基本的な考え方】

～ つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせにくらせるまち 西区へ ～

西区は、デジタル区役所のモデル区として、全課職員が参加してデジタル技術の活用による区民向けサービスの利便性向上や業務効率化に挑戦しています。各々の自主企画案について効果を高めるとともに、行政・イノベーション改革の視点で、デジタル技術の活用を合わせて検討します。また、With(ウィズ)コロナにおける事業手法を合わせて検討し、「子育てしたいまち、次世代を共に育むまち」の視点を持ちながら、子育て世代を呼び込み、地域や経済を活性化させ、より良い行政サービスにつなげていきます。

令和6年の区制80周年に向け、区民・企業・団体・区役所が一体となって、周年を祝い取組を展開します。周年を契機として、西区の基本目標である「つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせにくらせるまち」の実現に向け、地域のつながりの強化・賑わい創出に取り組んでいきます。

- 地域のつながりづくり
- いきいきと健やかに暮らせるまちづくり
- まちの回遊性向上とにぎわいづくり
- 安全・安心なまちづくり
- 親しみやすい区役所づくり

#### 1 区分別総括表

(単位:千円)

	5年度予算額	4年度予算額	差 引
自主企画事業費	99,012	98,933	79
統合事務事業費	35,356	35,718	▲ 362
統合事務費	19,440	20,428	▲ 988
統合事業費	15,916	15,290	626
区庁舎・区民利用施設管理費	466,655	452,527	14,128
合計	601,023	587,178	13,845

#### 2 内 訳

##### (1) 自主企画事業費

(単位:千円)

区 分	5年度予算額	主な事業
地域のつながりづくり	13,867	・「にこやかしあわせくらしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 ・区制80周年記念事業 ・西区「学び・つながり」支援事業
いきいきと健やかに暮らせるまちづくり	22,358	・西区の子育て学び隊事業 ・高齢者あんしん生活サポート事業 ・障害のある人も住みやすいまちづくり推進事業
まちの回遊性向上とにぎわいづくり	29,507	・地域連携推進・回遊性向上事業 ・商店街及び「まち」のにぎわい創出事業 ・西区の緑化と地域のつながり形成推進事業
安全・安心なまちづくり	25,044	・地域防災活動推進事業 ・西区ヨコハマ3R夢推進事業
親しみやすい区役所づくり	8,236	・サービス改善推進事業 ・区庁舎・区民利用施設環境整備事業
合 計	99,012	〈31事業〉

## (2) 統合事務事業費

(単位:千円)

区 分	5年度予算額	概 要
統合事務費	19,440	各課で事務・運営を行っていくために必要な事務費を適正に執行します。
広報よこはま西区版発行事業 ・区民相談事業	9,189	「広報よこはま西区版」の発行を通じて、区民に区の事業及び地域の情報を提供します。また、区民からの要望・提案等広聴の総合的な窓口となり、区民に身近な区の運営に生かします。さらに、区民が生活する上で生じる様々な相談に応じます。
クリーンタウン横浜事業	649	ヨコハマ3R夢プランに基づく、ごみの資源化・減量化啓発事業の実施や地域清掃の支援により、地域におけるごみの減量・3R意識の向上と地域美化の進展を目指します。
消費生活推進事業	55	地域の方々が賢い消費者となって身を守っていけるよう、消費生活に関する啓発記事を地域情報紙等に掲載し、注意喚起を行います。
緊急時情報システム運用事業	879	発災時に地域住民等に対し電話で緊急情報を伝達する手段である緊急時情報システムを運用します。
スポーツ推進委員事業	2,991	スポーツ推進委員による地域スポーツ活動の推進により、区民の健康増進、体育振興を図ります。
青少年指導員事業	1,249	青少年の健全育成を目的とする青少年指導員協議会の活動の支援を行います。
学校・家庭・地域連携事業	724	中学校区ごとの学校・家庭・地域が連携して行う様々な事業を支援し、非行防止と青少年の健全育成を図ります。
健康づくり月間事業	180	関係団体による区民に対する情報発信・啓発活動等により、保健・衛生に関する知識の普及、地域に根差した自発的な活動の推進及び区民の健康増進を図ります。
合 計	35,356	

## (3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

区 分	5年度予算額	主な施設等
区庁舎	53,675	西区役所
行政サービスコーナー	7,278	横浜駅行政サービスコーナー
区版市民活動支援センター	20,572	にしく市民活動支援センター
土木事務所	8,605	西土木事務所
公会堂	36,996	西公会堂
地区センター等	94,124	西地区センター、藤棚地区センター等
ログハウス	8,829	境之谷公園こどもログハウス
老人福祉センター	56,140	野毛山荘
コミュニティハウス	75,862	戸部コミュニティハウス等
区スポーツセンター	98,774	西スポーツセンター
広場・遊び場	238	西平沼こどもの遊び場等
区庁舎・区民利用施設修繕費	5,562	
合 計	466,655	

## 令和5年度 個性ある区づくり推進費(自主企画事業)施策体系別一覧

※新規・拡充について

新規：前年度事業がない新規の事業

拡充：事業費の増減にかかわらず、事業対象範囲を拡大した事業や細目事業に新規事業があるもの

### 1 地域のつながりづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	R5年度 事業費	R4年度 事業費	事業費 増▲減
1		地域活動事業	3,480	2,632	848
2		区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業	1,166	3,000	▲1,834
3		西区「学び・つながり」支援事業	1,830	2,199	▲369
4		西区ふれあい福祉推進事業	3,059	3,135	▲76
5		「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」 (西区地域福祉保健計画)の推進	2,332	2,393	▲61
6	新規	区制80周年記念事業	2,000	0	2,000
小 計			13,867	13,359	508

### 2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	R5年度 事業費	R4年度 事業費	事業費 増▲減
1		読書活動推進事業	1,794	1,986	▲192
2		地域の力を生かしたスクールサポート事業	1,574	1,555	19
3		区役所キッズスペース運営事業	5,014	4,910	104
4		地域子育てサロン運営支援事業	313	313	0
5		西区で子育て学び隊事業	3,433	3,428	5
6		西区の保育施設つながり事業	649	697	▲48
7		女性と子どものための相談支援強化事業	517	517	0
8	拡充	健康づくり応援事業	1,909	1,720	189
9	拡充	高齢者あんしん生活サポート事業	3,095	2,938	157
10		障害のある人も住みやすいまちづくり事業	4,060	4,356	▲296
小 計			22,358	22,420	▲62

### 3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	R5年度 事業費	R4年度 事業費	事業費 増▲減
1		広報充実事業	3,161	3,376	▲215
2		地域連携推進・回遊性向上事業	6,393	7,127	▲734
3	拡充	商店街及び「まち」のにぎわい創出事業	3,029	2,783	246
4		西区の緑化と地域のつながり形成推進事業	2,383	2,403	▲20
5		西区民まつり事業	6,007	6,007	0
6		ふるさと西区魅力発信事業	4,790	4,818	▲28
7		地域文化振興事業	500	500	0
8		スポーツ振興等事業	3,244	3,245	▲1
小 計			29,507	30,259	▲752

#### 4 安全・安心なまちづくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	R5年度 事業費	R4年度 事業費	事業費 増▲減
1		西区ヨコハマ3R夢推進事業	2,909	2,858	51
2		交通安全事業	6,440	6,518	▲78
3	拡充	地域防災活動推進事業	12,503	12,503	0
4		安心して暮らせるまちづくり推進事業	1,980	1,987	▲7
5		食中毒・感染症予防対策事業	1,212	1,117	95
小 計			25,044	24,983	61

#### 5 親しみやすい区役所づくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	R5年度 事業費	R4年度 事業費	事業費 増▲減
1		区庁舎・区民利用施設環境整備事業	5,631	6,109	▲478
2		サービス改善推進事業	2,605	1,803	802
小 計			8,236	7,912	324
合 計			99,012	98,933	79

### 3-(2) 令和5年度 西区編成予算(案)主要事業

## 地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 (福祉保健課)  
【予算額 2,332千円(対前年度比 61千円減)】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)を西区の総合的な計画と位置づけ、その推進にあたっては、地域包括ケアシステムの構築と一体的に取り組みながら、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を一層広げることを目指しています。

令和5年度は、第4期計画(R3～7年度)の3年目を迎えますが、withコロナを見据えながら、より着実に計画の推進を図り、特に「地区別計画」に関する取組に関して、区社会福祉協議会や地域ケアプラザと連携した地区支援チームが積極的にサポートしながら進めます。

併せて、地域の皆様等に地域活動や福祉保健により関心を持っていただけるよう広報・啓発にも取り組みます。

#### (1) 「にこまちプラン」の推進等(2,332千円)

##### ① 「にこまちプラン」(第4期西区地域福祉保健計画)の推進

地域における様々な課題の解決に向けて、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザが連携しながら、取組を行うとともに、「地区別計画」の推進に向けた地域活動を協働で支援していきます。

また、福祉保健分野に精通したアドバイザーの助言のほか、各分野の代表者で構成された「推進評価委員会」での意見を聴取して推進していきます。



推進評価委員会

■参考：第24回 西区地域福祉保健計画推進・  
評価委員会

【開催日】令和4年6月13日(月)

【会場】西区役所3階AB会議室

【内容】・第4期西区地域福祉保健計画の概要

・第4期西区地域福祉保健計画の推進について  
(意見交換)

・区内の地域包括支援センターの運営について  
等

## ② 「にこまちプラン」(第4期西区地域福祉保健計画)の 広報・啓発

地域活動の参考となる題材を取り上げながら、様々な世代を対象とした「にこまち講座」を開催します。

また、学校等と連携し、「こども向け啓発」の機会を創出します。

さらには、活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげるため、地区別計画の取組発表などを中心とした「にこまちフォーラム」を開催するほか、横浜市YouTube公式チャンネルで配信中の地区別計画紹介動画を活用した広報・啓発を引き続き行います。



にこまちフォーラム

### ■参考：令和4年度にこまちフォーラム

【開催日】令和4年7月28日(木)

【会場】横浜市健康福祉総合センター

【内容】地区別計画紹介動画等による第4期計画策定  
報告など

【参加者数】合計88名

**イ 区制80周年記念事業（主催：西区制80周年記念事業実行委員会（仮称））【新規】（区政推進課）**  
**【予算額 2,000千円】**

令和6年の区制80周年に向け、区民・企業・団体・区役所が一体となって、周年を祝う取組を展開します。コロナ禍で地域のつながりを感じる場面が減少している中で、周年を契機として、西区の基本目標である「つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせにくらせるまち」の実現に向け、地域のつながりの強化・賑わい創出に取り組んでいきます。

実施に当たっては、今後立ち上げを予定している区内関係者による西区制80周年記念事業実行委員会（仮称）（以下、実行委員会）において定期的に会合を開きながら、人を呼び込むための回遊性の向上や魅力の発信、商店・商店街と協力した賑わいづくり、各団体への記念事業の実施・連携の呼びかけなど、「温故知新」の姿勢のもと、地域が一体となって盛り上がるよう、取り組んでいきます。令和5年度においては、機運醸成に向けた広報ツールの作成とプロモーション、関係団体への協力依頼に加え、具体的な取組の推進について、実行委員会において検討・実施していきます。

**(1) 区制80周年記念事業(2,000千円)**

**① 取組の方向性**

取組を展開するにあたり、以下の方向性で検討を進めていきます。

- ・周年を契機として、区民の皆様への愛着を深め、地域の賑わいにつなげていく
- ・西区の過去の歩みを大切にしながら未来へとつなげていく、「温故知新」の姿勢で進める
- ・コロナ禍やみなとみらいの開発進展、脱温暖化、グローバル化や今後10年の動きなど、社会変化を踏まえるとともに、デジタル化によるつながりづくりに向けた区の取組を踏まえて企画を展開していく
- ・区内の企業・団体や施設等と幅広い連携を呼び掛けて、一緒に盛り上げていく
- ・第4期「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」（西区地域福祉保健計画）（令和3～7年度）の推進と合わせて地域の皆様とともに進めていく

**② 取組体制**

実行委員会は、全体会と3つの部会からなる体制を検討しています。

	主な役割
全体会	記念式典の開催や、全体の進め方の検討等
部会	具体的な取組の推進 テーマ1：地域資源による回遊性向上 テーマ2：商店・商店街の魅力発信 テーマ3：記念事業募集・PR等



西区制70周年記念式典の様子

# いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

## ウ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 3,095千円(対前年度比 157千円増)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区アクションプラン」(令和3年度改訂)に基づき、「地域包括ケアシステム推進事業」「認知症等高齢者支援事業」「健康づくり・介護予防事業」の取組を推進します。

### (1) 地域包括ケアシステム推進事業(284千円)

#### ① 啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展を通して、地域包括ケアシステムを広く周知します(11月)

#### ② 地域ケア会議の充実

地域包括ケアシステムの構築に向けた区レベル(11月)・地域包括支援センターレベル会議の充実を図るため、地域課題の抽出から課題解決につなげるためのアドバイザーを派遣します。(2回)

### (2) 認知症等高齢者支援事業(1,106千円)

#### ① 認知症講演会の開催

認知症の正しい知識・理解の普及啓発を行うとともに、予防のための食生活や運動、認知症になっても安心して暮らすための取組を紹介する講演会を開催します(10月予定)。また、講演会を録画し、YouTube等で配信します。

■参考：令和4年度 認知症普及啓発兼介護者支援講演会「認知症の方への口腔ケア」  
【開催日】令和4年10月20日(木) 西区役所  
【対象者】介護中の方、今後介護をする可能性のある方、認知症ケアに興味がある方  
【参加者】48名

#### ② 認知症サポーター養成講座の実施

認知症に優しいまちづくりを進めるため、引き続き、地域住民、学校や企業等の要請に応じ、認知症サポーター養成講座を実施します。(通年)

#### ③ 普及啓発人材育成研修の実施

認知症キャラバン・メイト(登録者数162名)等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。(6月、1月予定)

## (2) 健康づくり・介護予防事業(1,705千円)【拡充】

### ① 「ころばんよ体操」を活用した健康づくり

4つの効果(ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム・認知症予防、オーラルフレイル予防)がある西区のご当地体操「ころばんよ体操～パタカラバージョン～」と、後期高齢者や障害者でも取り組みやすい「ころばんよ体操～Part 2～」を活用し、区民の健康づくりや地域における自主的な活動の活性化に努めます。(通年)



ころばんよ体操

### ② 介護予防活動人材育成研修等の実施 (健康福祉局 区配事業)

西区の健康課題であるフレイル予防の重要性を啓発するため、理学療法士と連携し、講演会を開催します。(6月1日予定)。また、講演会参加者等を対象に、測定研修会を開催し、地域における介護予防活動の人材を発掘・育成します(7月予定)。

地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」(登録者数18名)等の人材育成研修及び介護予防活動グループ交流会を開催し、活動の充実を図ります。(5月、11月予定)



令和4年度フレイル・オーラルフレイル  
予防講演会の様子

#### ■参考：令和4年度 フレイル予防講演会

「人生100年時代を元気で乗り切るために～講師と一緒にフレイルチェックをしてみましょう～」

【開催日】令和4年6月23日(木) 横浜市健康福祉総合センター

【対象者】西区在住・在学・在勤

【参加者】268名

### ③ 介護予防リーフレットの配布

地域における介護予防に関する自主的活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットについて、コロナ禍における各団体の状況を反映し、地域における介護予防等を促進します。(10月予定)



「お元気活動応援マップ 屋外編」  
公園・屋外で活動中のグループ紹介

## エ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 4,060千円(対前年度比 296千円減)】

障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できるように、障害に対する理解を深める啓発活動や、電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策、自立に向けた生活体験を行う場の創出を行い、障害のある人も住みやすいまちづくりを目指します。

### (1) 障害のある人に対する理解を深めるための啓発・PR事業(3,270千円)

イベントや広報印刷物等、様々な機会を通じて啓発活動を行っていきます。

#### ① 地域防災拠点訓練での啓発

災害時に配慮が必要な障害者について、地域防災拠点訓練の参加者に、障害者が避難してきた際の配慮等を、訓練の中でミニ講座を行うなどして周知を行います。(通年4か所)

■参考：令和4年度地域防災拠点訓練での障害啓発  
【実施日・場所】9月11日(日) 岡野中学校  
【参加者数】区民28名



令和4年度地域防災拠点訓練

#### ② 区民まつりでの啓発

障害理解を深める啓発活動を作業所や障害関連施設と連携して実施します。(11月)

#### ③ 障害理解推進のためのイベント企画

障害者週間に合わせて、障害理解の推進を目的としたイベント等を障害福祉事業所と共に企画します。あわせて、障害者施設の利用者が制作した作品展示や、製品の販売を行います。(12月予定)



障害者施設利用者の作品展示

#### ④ 障害者施設利用案内の配布

区内障害者通所施設利用案内冊子「にしナビ」を障害当事者及び家族の相談に配付します。基幹相談センター、生活支援センターでの活用も進めます。一般の方向けに、障害施設紹介リーフレット「西区Style」をイベントの機会等を通じ広く区民にも配布します。

(通年)



障害者通所施設利用案内「にしナビ」



障害施設紹介リーフレット「西区Style」

## (2) 電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策(440千円)

人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方が災害時に向けた備えを進められるよう支援を行います。

### ① 災害時個別支援計画(「わたしの災害対策ファイル」)の作成支援

災害時を想定し日頃からの備えとして、行動手順や医療情報をまとめた「わたしの災害対策ファイル」を区内訪問看護ステーションと連携し、対象者への配付と計画の作成支援を行います。(通年)



わたしの災害対策ファイル

### ② 福祉避難所と連携したガス式発電機稼働訓練の実施

長時間に渡る停電時に備え、臨時的に充電ができる場所として、区内の福祉避難所6カ所に発電機を設置しています。発災時に速やかに対応できるよう、福祉避難所で機器点検・稼働訓練を実施します。(通年、6カ所)

### ③ 地域防災拠点(指定避難所)への発電機の配付

地域防災拠点(指定避難所)にある通常の発電機に加え、電源を要する医療機器を使用している方が、災害時に充電できるように新たに発電機を配付します。12カ所の地域防災拠点のうち年間3ヶ所ずつ配付し、医療用充電ステーションとして整備していきます。(通年)



発電機

## (3) 障害者の地域生活支援事業(350千円)

障害者に対する地域生活支援の検討にあたり、必要とされるニーズの把握及び、障害者が地域の中で安心した生活を送るための企画・検討を行います。(通年)

## オ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

(西区で子育て学び隊事業、西区の保育施設つながり事業、女性と子どものための相談支援強化事業)

【予算額 4,599千円(対前年度比 43千円減)】

西区は他区に比べ、出生数に占める第1子の割合や35歳以上で出産する人の割合、転入・転出者の割合が高いことを踏まえ、子育て家庭が地域で孤立することなく安心して子どもを産み育てられるよう、プレパパママクラスや赤ちゃん教室などを実施し、地域とのつながりを大切にしながら子どもの健やかな育ちを応援します。

### (1) 西区で子育て学び隊事業(3,433千円)

#### ① プレパパママクラス

妊娠6～9か月の妊婦とそのパートナーが妊娠・出産・子育てに関する基礎知識を学ぶための「プレパパママクラス」を3回1コースで実施しています。このうち赤ちゃんがいる生活について学び、沐浴・おむつ交換など体験を行う講座について、平日に参加できない方が参加できるよう休日にも開催します。区役所会場(年6回)の他、委託により地域子育て支援拠点など区役所以外の会場でも実施します(年6回)。



プレパパママクラス

#### ② 赤ちゃん教室

0歳児とその保護者や妊娠5か月以上の妊婦を対象に、子育てに関する情報交換や仲間づくりなどを目的に、地域の方の協力もいただきながら、区内9会場で実施します。コロナ禍の3か年は2部制で開催していましたが、令和5年度からは従来の1部制とし、保護者同士の交流の機会を増やします。(年10回×9会場)



赤ちゃん教室

#### ③ 中学校いのちの教室

西区を主な通学区域とする市立中学校(全5校)の3年生を対象に、「中学校いのちの教室」を実施します。助産師による性教育を通じて、生徒自身が正確な知識と情報を持ち、安全な性行動を選ぶことを学ぶ機会とします。また、命の尊さを伝えることにより、自分自身も大切な存在だと感じ今後の人生において主体的に意思決定していく力を身につけることにもつなげていきます。

#### ④ その他の子育て支援の推進

子育てガイドや保育施設等一覧による子育て情報の提供などを行います。



表紙



中面 (抜粋)

子育てガイド (西区子育て航海図)

#### (2) 西区の保育施設つながり事業(649千円)

南浅間保育園において、地域の親子に向けた子育て支援事業や育児相談(来園・電話・オンライン)を実施するとともに、地区ごとに子育て関連施設と連携して地域の会場に出向いて育児講座を行ったり、保育の質向上に向けた研修等を実施します。



地域の親子に向けた育児支援の様子

#### (3) 女性と子どものための相談支援強化事業(517千円)

子どもの発達や特性に対する関わり方に困り感のある保護者に適切な助言を行うため、3歳児健康診査時に臨床心理士による個別相談(年16回)を実施するほか、支援に関わる職員に対して専門家からスーパーバイズ(助言・指導)を受ける機会を設けます。

# まちの回遊性向上とにぎわいづくり

## カ 地域連携推進・回遊性向上事業

(区政推進課)

【予算額 6,393千円(対前年度比 734千円減)】

区民・企業・団体の皆様と連携協働しながら、環境に配慮した行動の定着を目指すとともに、花と緑や史跡をはじめとした、地域資源を活用した区内の魅力資源の周知・発信等を行うことにより、区内の回遊性向上を図り、活気あふれるまちづくりを進めていきます。

また、地域で活動する様々な団体等と連携し、地域の主体的な取組を支援しながら、身近な地域課題の解決に取り組みます。

### (1) 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業(3,536千円)

ガーデンネックレス横浜の開催等、来街者が増加する機会も捉えながら、区内の魅力資源を発信し区内の回遊を促進するとともに、2027年国際園芸博覧会に向けて、機運醸成を行います。

#### ① イベント等を契機としたまちの回遊促進

イベント等の来街者が増加する機会も捉えながら、区内の回遊を促進するため、まち歩きルート「温故知新のみち」を活用したデジタルスタンプラリー等、企画を実施します。

また、区内に設置している案内サインについて適切に維持管理を行います。



「温故知新のみち」散策マップ

#### ② 地域資源を活用した花と緑のまちづくりの推進

2027年国際園芸博覧会に向けて、区内の機運醸成を進めるとともに、近隣区と連携した周知に取り組みます。また、「ガーデンネックレス横浜」事業と連携し、区内に点在する花と緑の地域資源を活用し区内の回遊性を高めます。

「にしく緑花サポーター」に登録いただいた団体等への花苗等の配布を通じて、サポーターと協働し、花と緑のまちづくりを推進します(花苗等の配布は春秋の年2回実施)。



ハンギングバスケット講習会の様子

#### ■参考：にしく緑花サポーター

【開始年度】令和3年度

【対象】花壇等において緑化に取り組む区内の小中学校や公共施設等

【登録数】29か所(R5.1末時点)

〈内訳〉保育園、小・中学校：14か所

公共施設等：15か所



にしく緑花サポーターを通じた花植えの様子

## (2) 環境行動推進事業(2,101千円)

区民・企業・学校・行政の各主体が相互に連携・協力し、環境に配慮した具体的な行動の定着に向けた取組を実施します。

### ① 若い世代に向けた環境行動推進の取組

次世代を担う若い世代に向けて、環境に配慮した具体的な取組やSDGs達成に向けた取組を行うきっかけとして、参加型取組「にしくSDGsチャレンジ」や、環境学習イベントを実施します。

■参考：にしくSDGsチャレンジ  
**【事業概要】** SDGsに関連した3つの取組にチャレンジし、応募いただいた方に、抽選で景品を進呈。  
**【対象】** 西区の小中学生 **【応募】** 128名（令和4年度実績）  
 ■参考：親子で学ぶ！にしくエコ・クッキング講座  
**【事業概要】** 食材とエネルギーを無駄なく使う、環境にやさしい料理を学ぶ  
**【対象】** 区内在住・在学の小学3～6年生と保護者（2人1組）  
**【参加】** 14組28名（令和4年度実績）



にしくSDGsチャレンジ パンフレット

### ② 区内におけるSDGs達成に向けた機運醸成

若い世代が中心となって区内の環境配慮行動やSDGs達成に向けた取組を進める機運醸成を図るため、区内企業・団体等と連携しながら、次世代が作成した、SDGsに関する作品のパネル展を開催します。

■参考：にしく「わたしの大切にしたいSDGs」展  
**【実施期間】** 令和5年2月1日（水）～令和5年3月12日（日）  
**【事業概要】** 西区の小中学生が作成した絵画などの作品を展示  
**【会場】** 市庁舎及び区内3会場にて巡回展示  
**【参加校・団体】** 6校・1団体  
**【作品数】** 約50点



にしく「わたしの大切にしたいSDGs」展

## (3) 地域連携交流事業(756千円)

「にこまちプラン」の推進に向けて、地域支援の拡充と地域人材の発掘・育成を図るため、財政支援を行うほか、まちづくりアドバイザーを派遣します。

また、みなとみらいにキャンパスを開設した神奈川大学との連携強化を図ります。

### ① 西区地域づくり大学校修了生支援補助金

西区地域づくり大学校の修了生の地域活動の円滑なスタートに向け負担軽減を図ることを目的として補助金の交付を行います。

### ② 西区まちづくりアドバイザー派遣

地域が実施するまちづくり活動の企画・運営に対し、専門的な立場から助言を行い、地域の自主的活動を支援するためにまちづくりアドバイザーを派遣します。

### ③ 神奈川大学との連携

神奈川大学みなとみらいキャンパスの開設から3年度目となることにもない、地域の課題解決やSDGsの推進など新たな展開が創り出せるよう、具体的な取組についての協議を進めていきます。

■参考：令和4年度における神奈川大学との連携実績例  
 ・神奈川大学みなとみらいキャンパスホップ栽培プロジェクト  
 ・神奈川大学生と西区地域子育て支援拠点の連携による、子育て支援に関するフィールドワーク及びイベント出展（5～11月）  
 ・笑って学ぼう！漫才師と弁護士による成年後見制度講座（11月）  
 ・西区読書活動推進講演会「YOASOBI誕生の仕掛け人に聞く読書の魅力」（2月）



西区読書活動推進講演会チラシ

## キ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業

(地域振興課)

【予算額 3,029千円(対前年度比 246千円増)】

商店街活性化と誘客促進を進めると同時に、周辺の地域資源の魅力を情報発信することで“まちのにぎわい”を創出します。また、来年区制80周年を迎えるにあたり、機運醸成につながるよう、効果的に進めていきます。

### (1) スタンプラリー事業(2,479千円)【拡充】

商店街へ実際に足を運ぶきっかけづくりを目的とした「西区商店街スタンプラリー」を開催します。

なお、幅広い年代の方に参加いただけるよう、令和4年度に引き続き、デジタルスタンプラリーを併用する方法にて準備を進めます。

区制80周年の機運醸成として、開催期間等を含め、西区商店街組合連合会と連携して進めていきます。



スタンプラリー冊子及びステッカー(R4)



専用アプリ不要。  
二次元コードを読み取ってスタンプを貯めます。

デジタルスタンプラリー(R4)

#### ■参考：令和4年度開催内容

西区商店街スタンプラリー

11月11日(金)～11月30日(水)(13商店街：160店舗)

応募者数：513人

#### 【参加者からの主な声】

- ・普段他で買っているものも期間中はなるべく近所の商店街で買ってスタンプを集めました。
- ・気になっていたお店で初めて買うきっかけになりました。
- ・この企画で行ったことがないお店に行ってみました。新しい発見で子どもと楽しめました。

### (2) 西区情報発信事業(550千円)

西区の商店街等にある店舗を紹介する冊子「西区おいしいおみせ(仮)」について、自治会・町内会長等へのアンケート結果をもとに店舗の選定を行い、冊子の発行及び西区ホームページへの掲載を行います。

「西区おいしいおみせ(仮)」では、店舗の場所、外観、店内の様子や品揃えなどをわかりやすく紹介し、広く区民、来街者へ配布等を行うことで「まちの賑わいづくり」を創出します。

## ク スポーツ振興事業

(地域振興課)

【予算額 3,244千円(対前年度比 1千円減)】

区民が様々なスポーツを体験する機会を創出し、各種競技への理解・関心を高めます。

ウォーキングイベントの開催により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の健康づくりを推進します。また、来年区制80周年を迎えるにあたり、機運醸成につながるよう、効果的に進めていきます。

### (1) スポーツ体験会(769千円)

#### ① トップスポーツクラブとの連携事業

横浜市のトップスポーツクラブである横浜FCの「にし区民DAY」を開催することで、区民へのプロスポーツの観戦機会を創出し、スポーツへの関心を高めます。

- 参考：令和4年度 にし区民DAY
- 【開催日】令和4年9月10日(土)栃木SC戦 ニッパツ三ツ沢球技場
- 【対象者】西区在住・在勤・在学の方を優待(高校生以下招待)
- 【来場者】561名(全来場者4,800名)



横浜FC「にし区民DAY」(R4)

#### ② 小学校におけるスポーツ体験会

区内小学校の授業において、インクルーシブスポーツ等の体験会を実施し、各種競技への関心や理解、競技団体等との交流を深める機会を創出します。

- 参考：令和4年度実績
- ・ライフキネティック【日体大SMG横浜】(10/31・一本松小)
- ・ランニング【トレイルランニング横内選手】(10/12・稲荷台小)
- ・サッカー【横浜F・マリノスフトゥーロ】(12/1・浅間台小)
- ・ポッチャ【西区スポーツ推進委員連絡協議会】(12/9・西前小)



ライフキネティック体験会(R4)

### (2) 西区ハマのウォーキングフェスティバル(1,700千円)

区民の健康づくりと西区の魅力再発見を目的として、「西区スポーツ振興事業推進委員会」の主催により、広く区民を対象としたウォーキングフェスティバルの実施に向けて検討を進め、開催を目指します。

- 参考:第16回西区ハマのウォーキングフェスティバル実施概要
- 【開催日】令和4年12月4日(日)
- 【参加者数】641名
- 【コース】野毛山坂道ぐるっとコース(長距離/6.8km)  
石崎川沿道ふらっとコース(短距離/4.1km)



ゴール会場(臨港パーク)(R4)

### (3) 区民スポーツ振興事業、区青少年活動推進事業(775千円)

西区スポーツ協会、青少年育成団体等へ補助金を交付し、活動を支援します。

# 安全・安心なまちづくり

## ケ 西区ヨコハマ3R夢推進事業

(地域振興課)

【予算額 2,909千円(前年度比 51千円増)】

清潔できれいな街づくりを推進するとともに環境負荷の低減を図り、豊かな環境を次世代に引き継ぐために、区民・企業の3R行動の推進や地域清掃活動の支援を行います。

なお、場所や時間の制限を受けにくいオンラインを活用した環境学習の実施や区民・企業等と連携した地域清掃活動を展開し、事業効果の最大化を図ります。

また、来年区制80周年を迎えるにあたり、機運醸成につながるよう、効果的に進めていきます。

### (1) ヨコハマ3R夢推進事業(1,088千円)

#### ① ごみの減量・リサイクルの推進

ごみの減量・資源化と並行してフードロス・プラスチック削減普及啓発について、積極的に取り組んでいきます。

世界的な課題となっているプラスチック問題を幅広い区民の方に関心を持ってもらうため、フードロス・プラスチック削減イベント時には環境負荷を抑えた製品やプラスチック代替素材を原料とした啓発物品を使用します。

企業と協働して実施している店頭啓発では、環境問題を身近な事に感じてもらうため、親子で楽しみながら学べるワークショップを実施します。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として行っているパネルやデジタルサイネージを活用した視認啓発の実施店舗を拡大し、より多くの方が啓発動画を目にする機会を増やしていきます。



啓発物品の例  
(竹パウダー配合カトラリーセット)



ワークショップ実施例 (JRタワー)

#### ② 啓発や環境学習の推進

小学生を対象とした環境学習では(公財)横浜市資源循環公社と連携したリサイクル講座を実施します。

リサイクル講座では座学以外にも体験的要素を取り入れ関心をひくことで、児童達のリサイクルに対する理解度を高めていきます。

また、各学校の要望に合わせて新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、職員と児童との接触を極力避けられるオンライン講座の実施など、幅広いプログラムで展開していきます。



ペットボトルを用いたリサイクル講座の様子

## (2) 清潔できれいな街づくり事業 (1,821千円)

自治会・町内会等による地域清掃活動を支援するため、必要とする清掃用具を配布します。(希望調書：4月、清掃用具8月頃配布予定)

また、区内の高校・企業と連携し、横浜駅西口周辺地区の清掃・組成調査を行う地域貢献活動を、今後も地域において幅広い年代の方に関心を持っていただける活動として展開します。

さらに、企業・団体等による清掃活動 (WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER)を支援するとともに、横浜の玄関口である横浜駅周辺での大規模清掃活動「横浜駅をきれいに！」キャンペーンの他、区局が連携した行政による清掃活動を引き続き実施します。

なお、ごみのポイ捨て対策として、令和4年度に設置した帷子川沿いのポイ捨て禁止看板や新田間川遊歩道で実施している横断幕・ポイ捨て抑制路面シールによる視認啓発を継続するとともに、企業の協力を得て放映した街の美化に関する啓発画像やポイ捨ての多い場所へのポイ捨て禁止看板、ステッカーの貼付を行うことで「清潔できれいな街づくり」を推進していきます。



横浜平沼高校生徒による清掃活動



街の美化に関する画像放映  
(横浜ビブレ前大型モニター)

## コ 地域防災活動推進事業

(総務課)(福祉保健課)

【予算額 12,503千円(前年度同額)】

西区の「安全・安心なまちづくり」の実現に向け、地域における防災機能の強化を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の対策や、減災対策など自助・共助の取組を推進し、デジタル技術を活用して区本部機能及び地域防災力の向上を図ります。

### (1) 地域防災拠点の機能強化(1,738千円)

#### ① 円滑な避難所運営と多様な避難者への対応支援

新型コロナウイルス感染症対策を講じた地域防災拠点(以下、「拠点」)運営ができるよう、感染症対策を引き続き実施していくとともに、円滑な避難所運営を図るために新たに資機材を配備します。

また、乳幼児、高齢者、障害者といった要配慮者など多様な避難者に拠点对応できるよう支援を行います。



平沼小学校地域防災拠点訓練(R4)写真

#### ② 地域防災拠点訓練の実施

発災時に拠点が円滑に開設・運営されるよう、引き続き訓練を実施します。

(防災週間(8月30日)～3月11日、年1～2回)

訓練の実施にあたっては、マニュアル(「新型コロナウイルス感染症を踏まえた地域防災拠点の開設・運営のポイント」)を各拠点と共有し、現状を踏まえた訓練の実施を支援します。

### (2) 区本部の防災機能強化(6,115千円)

#### ① 震災・風水害対策の強化及びデジタル技術の活用

災害時を想定した区本部のシミュレーション訓練を実施し、発災時における区本部の災害対応力を強化するとともに、デジタル技術を活用し効果的な区本部運営を実施します。

- ・風災害対策訓練(6月実施予定)
- ・震災対策訓練(11月実施予定)



風水害訓練(広報ルート確認)の様子(R4)

#### ② 帰宅困難者対策の強化

横浜駅情報連絡本部であるJR横浜タワーを中心とした情報受伝達訓練と、帰宅困難者一時滞在施設における開設訓練を実施します。

### ③ 災害医療対策の推進

区内医療機関・医療局との通信訓練(隔月)や医療救護隊巡回訓練及び医療救護隊検討会、区本部訓練等を通じて、発災時の対応力を強化します。

また、災害医療連絡会(2～3月予定)を通じて区内の関係機関・団体と連携し、災害時の医療救護体制の課題や対応策について検討します。

### (3) 自助・共助の推進(4,650千円)【拡充】

#### ① 地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会の実施

昨年度に実施し相談者の満足度が高かった、地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会を引き続き実施し、民有地の崖・擁壁の適切な維持管理の啓発を図ります。(7月)

■参考：令和4年度実績

7月24日(6組)、25日(6組)、1月30日(5組)



崖地相談会の様子(R4)

#### ② 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレーカー(簡易タイプ)の購入に係る補助事業を引き続き推進します。感震ブレーカーの認知度向上及び火災延焼対策としての有効性の理解促進を図るため、単位町内会への個別説明や防災指導等の機会に西消防署と連携して啓発活動を行います。

また、老朽化した初期消火器具等の更新に係る補助事業を引き続き実施し、延焼火災対策を推進します。

■参考：過去3年の実績

##### 【感震ブレーカー補助実績】

- ・令和2年度：13団体・447個
- ・令和3年度：6団体・144個
- ・令和4年度：2団体・90個(R5.1末)

##### 【初期消火器具更新実績】

- ・令和2年度：7団体・17基
- ・令和3年度：3団体・4基
- ・令和4年度：1団体・1基(R5.1末)

#### ③ 区民への防災・減災の普及啓発

関東大震災から100年の節目を迎える今年は、震災対策の重要性を未来に継承するために、更なる防災・減災に関する啓発を実施します。

新たに啓発パネルを作成し、イベントや各種施設等での展示を実施します。

また、区民を対象とした防災講演会を開催するとともに、次世代の防災の担い手となる小・中学生に向けたセミナーを実施します。その他、広報よこはま西区版で防災特集を組み、啓発を実施します。

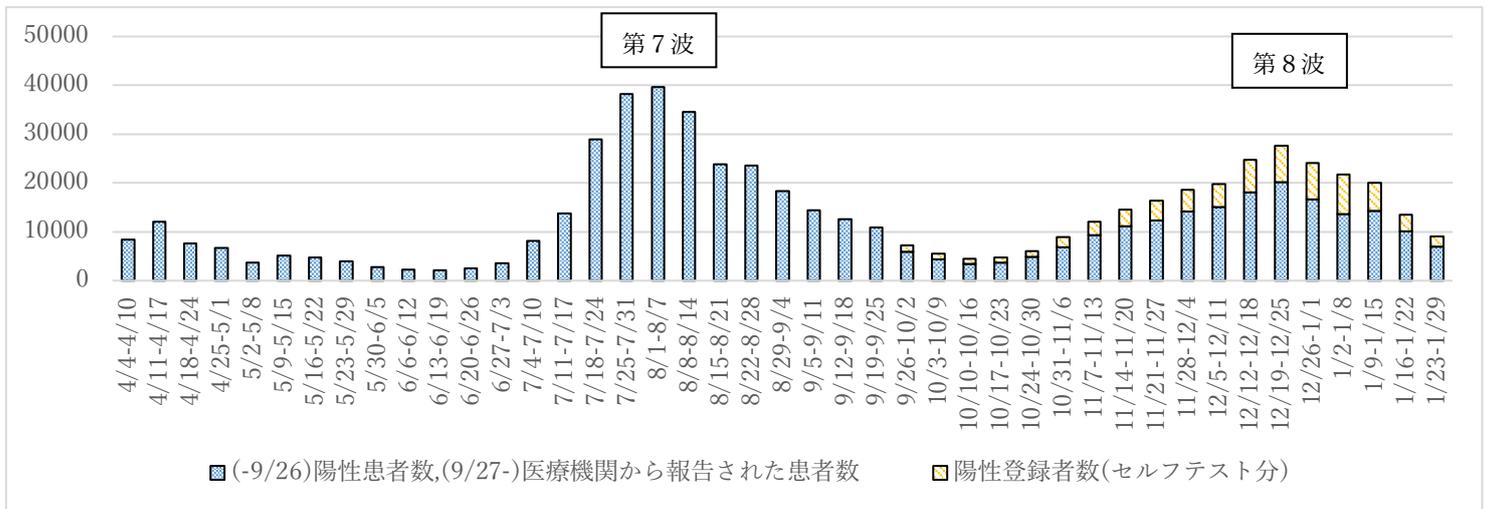
#### ④ 普及啓発のデジタル化対応

防災に関するデジタル化の一環として、防災マップをオフラインでもスマートフォンやタブレット上で現在地を確認できるアプリを導入します。

### 3-(3) 新型コロナウイルス感染症の対応状況

#### 1 横浜市の陽性患者数の推移(月～日曜日の週ごと)

(2022年4月4日～2023年1月29日)



※ 令和4年9月26日（記者発表は翌日の27日）からは医療機関からの報告数とセルフテストでの登録件数です。また、市での集計となり区ごとの集計は出来なくなりました。

#### 2 令和4年9月以降の対応

##### (1) 全数届出の見直し

医療機関からの発生届出については、従前は全件届出としていましたが、令和4年9月26日からは、65歳以上の方などの重症化リスクのある方に限定され、それ以外の方は件数のみの報告となりました。このため、重症化リスクの高い高齢者等に重点的に対応が図ることが出来るようになりました。

##### (2) 区内高齢者施設 12 施設との連携強化等

第7波の落ち着いた11月には、区でハイリスク施設である高齢者施設を訪問し「顔の見える関係づくり」を進め、施設内で感染者が発生した場合に相互に迅速に対応できるよう、連携の強化を図りました。

また11月に、区医師会と「第8波に備えた意見交換」を行うとともに、「新型コロナとインフルエンザの同時流行に備えて」等のチラシを地域の掲示板に掲載しました。

##### (3) 事務の改善等

従前は医療機関から発生届のファックスが紙で送付されていましたが、9月から福祉保健課でインターネットファックスを導入しました。

9月26日に届出要件が変更されたことに伴い、医療機関からの問合せや、届出要件を満たさない発生届の取下げ対応等が続いています。

#### 3 年末年始以降の対応

##### (1) 年末年始の区役所の職員体制及び休日急患診療所の開設

区役所では休庁日である12月29日から1月3日まで、7人体制で対応しました。西区医師会による休日急患診療所は12月30日から1月3日まで開設され対応しました。また、年末年始前に区医師会と情報共有し、特に西区では横浜駅周辺やみなとみらい地区を訪れる旅行者が多いため、旅行者が陽性になった際の対応を確認するなどし、年末年始でも連携が図れるよう準備をしました。

(2) 高齢者施設の対応

入所者にコロナ陽性者が発生した施設から、毎日陽性者の体温や酸素濃度等の健康情報を報告してもらい、施設と区役所双方で入所者の健康観察を実施し、いつでも相談できる体制づくりを行っています。

(3) 個別対応について

- ・ 自宅療養中に連絡のとれない場合は電話連絡し、体調確認を行っています。
- ・ 電話での連絡が取れない方は自宅へ訪問し、不在の場合は手紙などを差し置いています。
- ・ 透析が必要な方が陽性となった場合は、医療機関までの搬送車を手配しました。
- ・ 自宅療養中に体調が悪くなった方へ「往診医」を手配しました。

### 3 - (4) デジタル区役所モデル区に係る取組

横浜DX戦略において、西区役所が「デジタル区役所モデル区」に選定され、この動きに合わせて、「西区デジタル区役所モデル区プロジェクト」を組織しています。

この「西区デジタル区役所モデル区プロジェクト」について、現在の取組状況等をご報告します。

#### 1 西区デジタル区役所モデル区プロジェクト取組内容一覧

西区デジタル区役所モデル区プロジェクトでは、参加メンバーを7チームに分け、それぞれのチームでテーマを設定し、デジタル技術を活用した様々な実証実験に取り組んでいます。

取組名	主な内容	状態
どこでも区役所 (オンライン窓口整備)	・ <u>マイナポイント申込支援等のオンライン窓口</u>	実施中 (R5年2月)
	・ 弁護士による無料法律相談のオンライン窓口	実施予定 (R5年3月)
区役所等の防災機能強化	・ AIによる災害情報の自動収集ツールの試験導入	実施中 (5月~)
	・ <u>地域防災拠点の受付業務のデジタル化</u>	実施予定 (R5年2月)
書かない窓口 (マイナンバーカード活用)	・ <u>申請書自動作成システムの試験導入</u>	実施済 (9月~12月)
出張時のタブレット活用	・ 出張先での記録業務等にデジタルツールを活用	実施中 (11月~)
動画コンテンツの作成・活用	・ 動画作成ツールの試験導入 (動画の内製化促進)	実施済 (8月~11月)
	・ <u>動画を活用した電話対応業務の効率化</u>	実施中 (11月~)
内部事務DX	・ 会計年度任用職員の勤務実績管理のデジタル化 (紙出勤簿の廃止、出退勤記録のデジタル化)	実施中 (11月~)
	・ <u>新しい働き方に対応した西区庁舎の環境整備</u>	実施中 (R4~R5)
区連会DX (地域のデジタル化促進)	・ 区連会定例会のWeb開催、ペーパーレス化	実施中 (5月~)
	・ 区連会Webページのリニューアル (自治会町内会検索機能の実装)	実施予定 (R5年4月)

※年表記のないものは、全てR4

## 2 主な取組の紹介

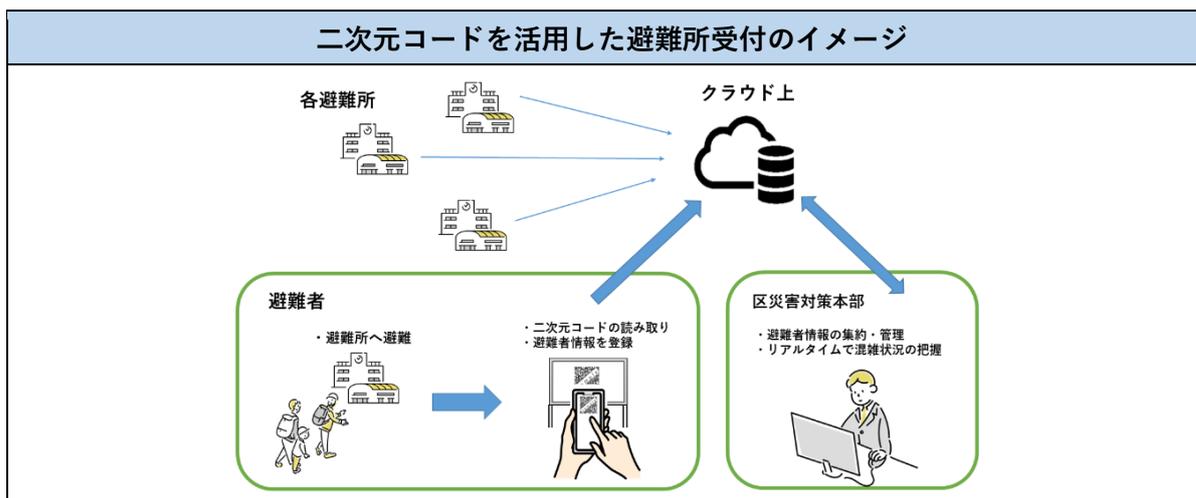
### (1) マイナポイント申込支援等のオンライン窓口（実施中：R5年2月1日～28日）

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>藤棚地区センター</u>に設置したWeb会議専用ブースでサービスを提供</li> <li>・ 実証実験の視点は、区役所への移動負担の軽減、区役所閉庁日でも利用できるサービス、<u>デジタルが苦手な方でもデジタルの恩恵を受けられるサービス</u></li> <li>・ 提供サービスは、マイナンバーカードの普及啓発の一環として、<u>マイナポイント申込支援、デジタルデバインド（情報格差）対策として、スマートフォンの操作方法等の相談窓口</u></li> </ul>
検証事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政サービスの新しい提供方法（オンライン窓口）に対する区民ニーズの把握</li> <li>・ 区役所以外の行政施設での行政サービスの提供に対する区民ニーズの把握（利用者に対してアンケートを実施）</li> </ul>

Web会議専用ブース	画面イメージ
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ブース外観</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>利用イメージ</p> </div> </div>	

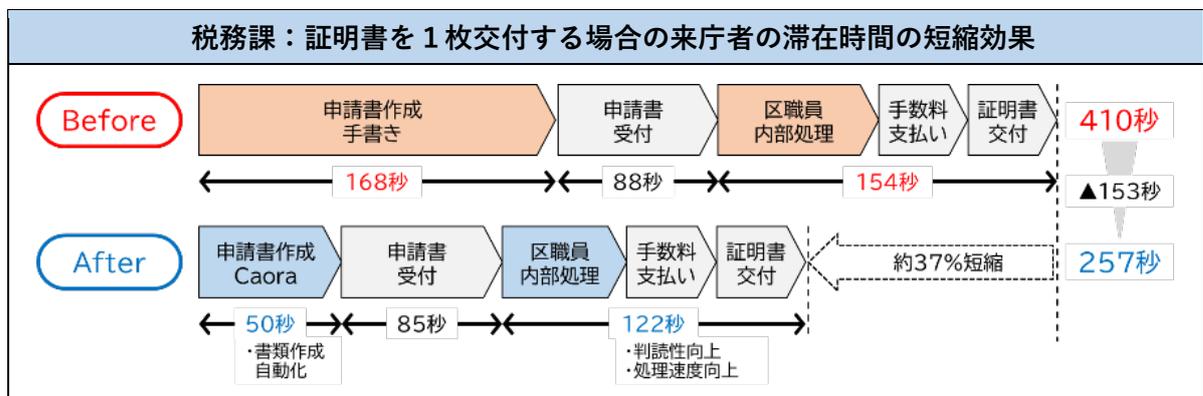
### (2) 地域防災拠点の受付業務のデジタル化（実施予定：R5年2月19日）

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>軽井沢中学校</u>の地域防災拠点訓練の際に実証実験を実施</li> <li>・ 実証実験の視点は、避難所受付での手書き負担の軽減、受付時の混雑緩和、避難者情報の効率的な集約管理、避難所の受入状況のリアルタイム把握</li> <li>・ 受付に掲出された<u>二次元コードをスマートフォン等で読み取り、氏名、性別、生年月日、住所、電話番号等を入力して受付</u></li> </ul>
検証事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受付時間の短縮・混雑緩和、情報集約・管理の効率化、避難所の受入・混雑状況等の可視化について効果を確認</li> <li>・ 入力や避難者情報の集約に要する時間を計測し、効果測定を実施（利用者に対してアンケートを実施）</li> </ul>



(3) 申請書自動作成システムの試験導入（実施済：9月～12月）

<p><b>概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証実験の視点は、申請書自動作成システムの導入による各種<u>申請書の手書きにかかる負担（時間と手間）の軽減</u>、申請書受付後のバックオフィスでの作業効率の向上</li> <li>・実証実験の対象部署及び事務は、<u>戸籍課と税務課</u>の証明書発行事務と戸籍課のマイナンバーカード関連事務</li> <li>・マイナンバーカードの普及啓発の一環として、<u>マイナンバーカードを活用した申請書自動作成システム</u>を導入</li> </ul>
<p><b>検証事項</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請書自動作成システムの導入による申請書作成時間の短縮効果、手書きから機械文字になることによる事務処理時間の短縮効果の確認</li> <li>・申請書の手書き、自動作成について、利用者アンケートを実施</li> </ul>
<p><b>効果検証</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税務課：証明書を1枚交付する場合、<u>来庁者の滞在時間を約37%短縮</u> (サンプル数：550件)</li> <li>・戸籍課：申請書作成時間を約20%短縮 ※滞在時間の短縮効果は未確認</li> <li>・<u>利用者アンケートでは、操作が簡単で使いやすい、手間が減って便利になったと肯定的な意見が多く寄せられた。特に高齢者や外国籍の方に好評だった。</u></li> <li>・職員アンケートでは、機械文字により判読性が向上し、事務処理が早くなった、複数の手続きを同時に行う場合、更に高い効果が見込める等の意見があった。</li> </ul>



(4) 動画を活用した電話対応業務の効率化（実施中：11月～）

<p><b>概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定型的な電話対応業務について、職員の<u>口頭説明を動画視聴に切り替え</u>、<u>電話対応にかかる時間を最小化</u>する。</li> <li>・実証実験の対象部署及び事務は、<u>こども家庭支援課</u>の「健診券の払戻し」の方法に関する案内。1件あたりの平均対応時間は約15分。</li> </ul>
<p><b>検証事項</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話対応時間の短縮効果を確認</li> <li>・動画視聴での説明に対するお客様の反応を確認</li> </ul>
<p><b>効果検証</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>電話対応時間を約66%短縮（15分→5分未満）</u>（サンプル数：150件）</li> <li>・お客様からの動画視聴への不満は特になし。動画視聴後の再問合せもなし。</li> <li>・口頭説明時のお客様のメモ取り負担が解消（動画は繰り返し視聴可能なため）</li> <li>・説明内容が統一化され、職員の習熟度によるサービス提供の差がなくなった。</li> </ul>

(5) 新しい働き方に対応した西区庁舎の環境整備（実施中：R4～R5）

ア 令和4年度の取組

「こども家庭総合支援拠点」機能の整備に合わせて、2階フロア全体のレイアウト変更を、新市庁舎を参考に行いました（令和4年10月）。



取組内容	効果
<u>2階4課（全部署）の配置見直し</u>	・利用者にとって分かりやすい窓口の配置
<u>全ての窓口サイドパネルを設置</u>	・窓口対応時の個人情報、プライバシー保護の強化
窓口周辺の収納力の向上	・書類の出入りが容易になり、窓口対応が円滑化
執務室内の通路幅の拡幅	・窓口周辺の作業性が向上
<u>PHS化、インターネットFAXの導入</u>	・場所を選ばない働き方に対応した環境整備 ・ペーパーレス化の促進、情報保護環境の強化
ロングデスクの採用 （役席の廃止）	・責任職との距離が近くなり、意思疎通が円滑化 ・机上スペースが増加し、作業効率が向上
<u>打合せスペースの数、設備を拡充</u> （窓際に集中配置）	・打合せスペースの順番待ち解消 ・ <u>モニター設置によるペーパーレス化の促進</u>
書庫の整理（再配置）、小型化	・不要文書の整理、削減

⇒ 2階フロアでの取組により、西区役所では、「新しい働き方」に向けた職員の意識改革のムーブメントが進みつつある状態になっています。

## イ 令和5年度の取組

「行政運営の基本方針」で位置付ける“新たな行政運営へのイノベーション”の場（「場所を選ばないワークスタイル」「新たな働き方・価値・アイデアを生み出すための空間の創出」）として、**4階フロア（総務課・区政推進課・地域振興課・税務課・会計室）のオフィス環境の改善**を行います（令和5年10月）。

今後、デジタル区役所モデル区プロジェクトにおいて、取組内容の検討、スケジュールの作成を進めます。

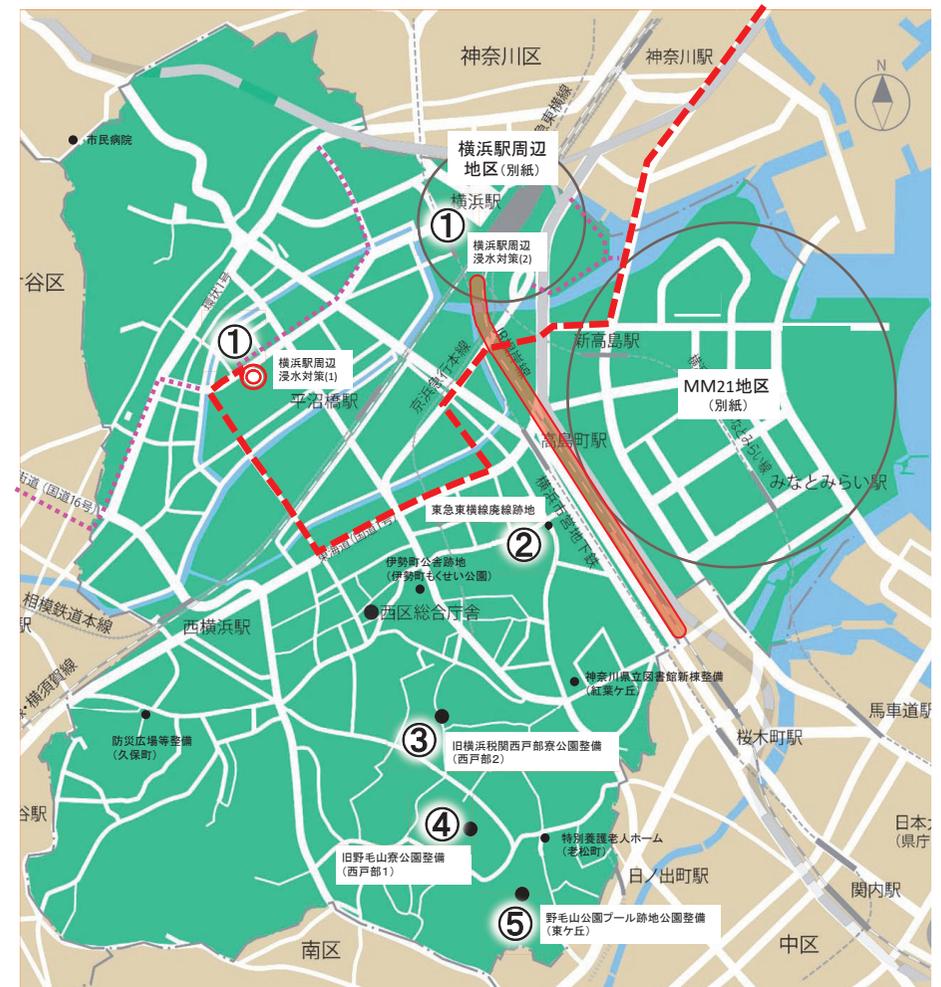
### <取組内容（案）>

<p><b>【Web会議専用ブースの設置】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・テレワーク職員とつながる専用ブースを設置し、意思疎通を円滑化</li><li>・安心してコミュニケーションできる場を創出</li></ul>	
<p><b>【機能集約型モニターの導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・モニターにデジタルペンでアイデアを書き込みながら、その場で資料を作成</li><li>・Web会議機能、ホワイトボード機能、パワーポイント機能を活用し、効率的に資料を作成</li></ul>	
<p><b>【テーブルレスミーティングの実践】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・専用スポットを設置</li><li>・職員同士が気さくに意見を言い合える環境を提供し、組織の枠を超えた連携を生み出していく</li></ul>	
<p><b>【新しい働き方に対応した環境整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大型ロングデスクの採用によるスペース創出、日常の仕事スタイルの効率化</li></ul>	

【参考】西区における開発動向等

地図	概要
①	<p>横浜駅周辺浸水対策</p> <p>(1) 神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線及び東高島ポンプ場整備事業 横浜駅周辺では10年確率降雨(60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(74mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線及びポンプ場の整備を予定しています。 地元の皆様や野球場利用団体と調整を行い、雨水幹線の立坑を岡野公園の野球場の一部に設置することとし、令和3年5月に工事に着手しました。令和12(2030)年度供用開始を予定しています。</p> <p>(2) 横浜駅周辺における下水道管内水位の情報提供 横浜駅西口周辺において、地下街管理者をはじめ来街される市民の皆様等に、主要な地点における下水道管内の水位情報を提供する取組を開始しました。引き続き、水位の閲覧状況を把握し、地下街管理者との意見交換などを進め、効果検証を行います。また、新たに横浜駅東口の2か所のマンホールに水位計を設置し、令和5年出水期前の運用開始を目指します。</p>
②	<p>東急東横線廃線跡地</p> <p>桜木町駅西口広場付近から紅葉坂交差点までの区間を令和元年7月16日に歩行者専用道路として供用開始しました。供用区間の利活用に関する実験イベントを令和元年度に2回(9月24日、12月20日)、令和2年度には1回(10月18日)、令和4年度には1回(10月13日から10月17日)開催しました。引き続き紅葉坂交差点付近から横浜駅方面の整備に向けた検討を行っていきます。 構造物の状況調査により、浅山橋交差点から高島町交差点までの構造物は撤去することとしました。令和3年度は公道上部の高島第2架道橋付近の撤去工事を行い、令和4年度は撤去区間のうち、横浜方面の構造物を撤去しています。 また、構造物の状況調査の結果を踏まえ、東横跡地全体の基本計画を再検討しています。 令和5年度は、引き続き構造物の撤去及び基本計画の再検討を進めます。</p>
③	<p>旧横浜税関西戸部寮公園整備 (公園面積 約1,500㎡)</p> <p>環境創造局が国家公務員宿舎跡地を取得し、街区公園として整備を行います。 令和4年度は公園施設の設計を行っており、令和5年度以降、基盤整備や公園施設の工事を行っていきます。(令和6年度供用開始予定)</p>
④	<p>旧野毛山寮公園整備 (公園面積 約1,700㎡)</p> <p>当該地は、一本松まちづくり協議会のエリア及び地震火災対策方針における重点対策地域に含まれ、平成21年度に地域から市長あてに公園整備の要望書が提出されています。都市整備局が国家公務員宿舎跡地を取得し、防災に資する街区公園の整備、取付道路の整備等を行います。令和5年度は、引き続き擁壁の補強や公園施設などの工事を行い、令和5年度中の供用開始を予定しています。</p>
⑤	<p>野毛山公園プール跡地公園整備 (土地面積 約6,200㎡)</p> <p>プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行ってきましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として整備を行うことが決定しました。 引き続き、公園計画について検討を行います。</p>

【参考】西区における開発動向等(西区開発動向分布図)



【参考】西区における開発動向等（横浜駅周辺地区）

横浜駅西口	<p>令和2年6月に東日本旅客鉄道株によるJR横浜タワー及びJR横浜鶴屋町ビル整備が竣工し、JR横浜タワー前の屋根は令和3年6月に供用開始し、高島屋前屋根は令和5年1月に完成しました。引き続き駅前広場の整備を進めます。</p> <p>また、神奈川県になりますが、③横浜駅きた西口鶴屋地区では国家戦略特区を活用し、グローバル企業誘致に資する居住機能を有した再開発事業(住宅、ホテル、商業施設等)を進め、令和元(2019)年10月に建築工事に着手しました。</p>
横浜駅東口	<p>横浜中央郵便局及びその周辺地区における民間開発の事業化に向けて、ステーションオアシス協議会(日本郵政(株)、東日本旅客鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、横浜市)で検討を進めており、地盤改良や近接する鉄道への対策工事等による事業費への影響が大きいため、地下の掘削部分を縮小するなど事業採算性のある事業計画の検討を行っています。さらに、関連する基盤施設整備として、民間開発と連携した駅前広場やデッキ等の計画について検討を行っています。</p>
①	<p><b>中央西口駅前広場</b>                  令和元(2019)年7月～                  令和3(2021)年6月 JR横浜タワー前の屋根全体が供用開始                  令和5(2023)年1月 横浜高島屋前の屋根完成                  引き続き駅前広場の舗装整備等を行っていく予定</p>
②	<p><b>きた西口駅前広場</b>                  令和元(2019)年7月～                  令和3(2021)年4月 エレベーター供用開始                  令和5(2023)年度 屋根完成予定                  引き続き高欄や植栽、舗装整備等の広場整備を行っていく予定</p>
③	<p><b>横浜駅きた西口鶴屋地区（再開発ビル）</b>      事業者：横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合</p> <p>階数・高さ：地上43階/地下2階、約178m                  用途：住宅、ホテル、商業施設等</p> <p>平成29(2017)年度 再開発組合設立                  令和元(2019)年度 建築工事着手                  令和5(2023)年度 竣工(予定)</p>
④	<p><b>内海川(うつみがわ)跨線人道橋撤去</b>                  平成30(2018)年～令和6(2024)年予定                  令和4(2022)年度 鉄道架線支持替や主要な構造部の撤去工事着手                  令和5(2023)年度 鋼材や基礎などの撤去工事実施予定</p>



【全体スケジュール】

令和元(2019)年7月	①②中央西口・きた西口駅前広場の整備工事着手	令和3(2021)年6月	①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前屋根工事完了・JR横浜タワー前屋根供用開始
令和元(2019)年10月	③横浜駅きた西口鶴屋地区再開発工事着手	令和3(2021)年10月	②きた西口駅前広場 屋根工事着手
令和元(2019)年12月	西口地下街中央通路接続事業(馬の背解消)新設通路開通	令和4(2022)年1月	①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根工事着手
令和2(2020)年3月	JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル竣工	令和5(2023)年1月	①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根完成
令和2(2020)年7月	①中央西口駅前広場 JR横浜タワーアトリウム前屋根工事完了	令和5(2023)年度	②きた西口駅前広場 屋根完成(予定)
令和2(2020)年8月	①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前屋根工事着手	令和5(2023)年度	③横浜駅きた西口鶴屋地区の竣工(予定)
	JR横浜駅改札内通路整備完了	令和6(2024)年度	④内海川跨線人道橋撤去工事完了(予定)
令和2(2020)年12月	BAYSIDE BLUE 待合室整備完了		

【参考】西区における開発動向等（みなとみらい21地区）

令和4年12月末時点

赤①	60・61の一部：Kアリーナプロジェクト （ミュージックテラス） Kアリーナ横浜／ヒルトン横浜／Kタワー横浜 企業促進 事業主体：株式会社ケン・コーポレーション 規模等/高さ：地上28階/約100m 敷地/延床面積：約31,800㎡/約118,700㎡ 施設：音楽アリーナ（収容人数約2万人）、ホテル、オフィス 竣工：令和5（2023）年7月予定	赤④	37の一部：横浜コネクスクエア 事業主体：合同会社K R F 4 8 規模等/高さ：地上28階、地下1階/約146m 敷地/延床面積：約10,100㎡ /約122,000㎡ 施設：オフィス、ホテル、店舗、駐車場 竣工：令和5（2023）年1月予定
赤②	60・61の一部-みなとみらい大通り： （仮称）高島水際線デッキ整備 事業主体：都市整備局 規模等：幅員6.0m、橋長約130m 着工：令和3（2021）年10月 竣工：令和6（2024）年度予定	赤⑤	37-38： （仮称）みなとみらい大通り37-38街区間デッキ整備 事業主体：都市整備局 規模等：幅員6.0m、橋長約50m 着工：令和3（2021）年10月 竣工：令和4（2022）年度予定
赤③	53：横浜シンフォステージ（YOKOHAMA SYMPHOSTAGE） 企業促進 事業主体：（仮称）みなとみらい21中央地区53街区開発事業者共同企業体 規模等/高さ：地上30階/約160m 敷地/延床面積：約20,600㎡/約183,000㎡ 施設：オフィス、店舗、オープンイノベーションスペース、ホテル等 竣工：令和6（2024）年3月予定		
青①-1	19の一部：臨港パークの整備 【先端部等の整備】 事業主体：港湾局 規模等：約1.5ha 施設：接続デッキ（パシフィコ横浜）緑地、護岸、藻場・浅場（人工海浜・岩場）等 着工：令和3（2021）年度	青②	62：（仮称）HARBOR EDGE PROJECT 事業主体：（代表企業）Berjaya Corporation Berhad（構成企業）丸紅株式会社、大和ハウス工業株式会社 規模等/高さ：地上14階、地下2階/約60m 敷地/延床面積：約22,000㎡/約82,660㎡ 施設：ホテル&ホテルコンドミニウム、水族館、店舗等 竣工：令和8（2026）年9月予定
青①-2	19の一部：臨港パークの整備 【カフェ・ランニングステーションの整備】 事業主体：（代表企業）株式会社伊佐建設（構成企業）株式会社ドラフト スプリングハズカム合同会社 規模等：地上3階 敷地面積：約600㎡ 施設：カフェ、ランニングステーション、レストラン等 着工：令和5（2023）年春頃 予定	青③	52：みなとみらい21中央地区52街区開発事業計画 事業主体：DKみなとみらい52街区特定目的会社 株式会社光優 規模等/高さ：地上29階、地下1階/約180m 敷地/延床面積：約11,800㎡/約115,000㎡ 施設：オフィス、オープンイノベーションスペース、ゲームアートミュージアム、店舗 竣工：令和8（2026）年6月予定

